

令和4年度 緑化活動啓発作品コンクール 審査講評

〈総 評〉

- ・応募いただいた学校数は、小学校は7校減ったものの、中学校・高校は増えたため、応募総数は614作品で昨年度とほぼ同程度であった。
- ・どの作品も熱心に取り組んだことがよく分かる魅力的な作品であり、どれも素晴らしいもので、選考に苦慮した。
- ・選考にあたっては、単に綺麗だったり技術的に優れているだけでなく、「森林づくり」や「緑化運動」としての思いが表現されており、かつ、ポスターやチラシという啓発媒体にふさわしい作品を選定した。

〈ポスター原画〉

■小学校の部：最優秀賞「北海道森林組合連合会会長賞」

画 題	「みんな仲よし森の中」
作 者	むかわ町立宮戸小学校5年 齊藤 雅莉佳 (さいとう えりか)
制作意図	「森の中にいるみんなが笑顔になれたらいいな」と思いながらかきました。
講 評	カラフルで、描かれている動植物や魚などみんなが笑顔で、見ていると楽しくなる、小学生らしい作品。

■中学校の部：最優秀賞「北海道教育長賞」

画 題	「きれいな環境」
作 者	士別市立士別南中学校3年 猪瀬 楓 (いのせ かえで)
制作意図	動物たちが安全に暮らせる美しい自然を想像し作画しました。
講 評	鮮やかな色使いで、木の立体感など丁寧に書かれているのがよく分かる作品。いろいろな動物が集っていて、ポスターやチラシにふさわしい。

■高等学校の部：最優秀賞「北海道知事賞」

画 題	「自然を愛す」
作 者	北海道富良野緑峰高等学校2年 川村 凜花 (かわむら りんか)
制作意図	自然を愛し大切にしてほしいという思いで描きました。
講 評	高校生らしく緻密で、きれいに丁寧に書かれており、樹を包み込むハートで愛を表現するなど、感性の豊かさが表現された作品。標語との相性も良く、ポスターに採用したい。

注：「制作意図」は作者が記述して作品に添付したものです。

〈標 語〉

■最優秀賞「北海道知事賞」

作 品	「届けよう 未来の世界に この緑」
作 者	士別市立朝日中学校1年 市橋 実波 (いちはし みなみ)
講 評	現在の緑や自然環境を、将来のためにしっかり守り、引き継いでいこうという思いが読み取れ、ポスター原画の「自然を愛す」とも思いが合致する作品。